

## 総務文教常任委員会委員長報告

去る6月11日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案1件及び請願1件です。本委員会は、所管部課長等の出席を求め審査を行いました。以下審査の経過と結果について順次報告いたします。

### 記

- 1 審査年月日 令和7年6月12日(木)
- 2 場 所 委員会室2
- 3 出席委員 毛呂一夫、湯沢美恵、保角美代、現王園孝昭、  
諏訪幸男、大嶋達巳、今関公美
- 4 審査結果

「議案第39号」北本市税条例の一部改正については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議請第2号」国に対し「インボイス制度を廃止することを求める意見書」の提出を求める請願については、挙手少数により不採択とすべきものと決定しました。

### ◎「議案第39号」について

(1) 「加熱式たばこに関するたばこ税の課税標準の特例について」質疑したところ、「加熱式たばこの課税標準は、これまで重量と価格の平均で換算していましたが、改正後は重量のみで算定する方式に変わります。スティック型のもは0.35グラム、それ以外は0.2グラムで紙巻きたばこ1本に換算します。試算の一例として、令和8年10月からは小売価格430円、重量6.0グラムの製品で税率が7.4%の増となります。経過期間中は、改正前後の計算方法を折半して適用し、3.7%の増となります。税収は令和8年度が1.5%の

増、金額にして約567万円の増収、令和9年度が2.0%の増、約750万円の増収を見込んでいます」との答弁がありました。

(2) 「公示送達の変更点について」質疑したところ、「現行の公示送達は、市役所内の掲示場に書面を掲示する方法で行っていますが、改正後は、インターネットを利用し、不特定多数が閲覧可能な形で実施するとともに、掲示場での掲示または事務所内のパソコン画面での表示のいずれかを併せて行うこととなります。ホームページに記載する内容については、公示送達の趣旨から個人を特定できる情報が必要ですが、住所をどこまで記載するかは慎重に検討すべき点であると認識しています。今後、法規担当等と協議を重ね、適切な内容と方法で対応していきたいと考えています」との答弁がありました。

(3) 「特定親族特別控除額が追加されることによる市税への影響について」質疑したところ、「令和6年度の課税データに基づいて試算した結果、特定親族特別控除の対象者数は160人で、影響額は約320万円の減収となる見込みです」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

## ◎「議請第2号」について

本請願審査では、紹介議員及び参考人を招請し審査を行いました。

はじめに、紹介議員から請願趣旨の説明を受け、参考人の意見陳述を行った後、質疑・答弁がありましたので、その内容について主なものを申し上げます。

(1) 「小規模事業者にも公平な負担を求めつつ、国は十分な配慮をすべきと考えるが、いかがか」と質疑したところ、「中小零細事業者は、経営や家計に大きな余裕がない中で事業を営んでいる方が多く、新たに課税を強いる

インボイス制度は過重な負担となっています。消費税そのものの廃止を求めるものではありませんが、制度が本来の人を生きかす税の趣旨から逸脱しているのではないかと感じます。現に、経済的困窮による自殺や廃業に追い込まれた例もある中で、制度の在り方には再考が必要であると考えます」との答弁がありました。

(2) 「**請願文書表に記載されている過大な事務負担や納税について、従来と比べて具体的にどのような事務が増え、どの程度負担が大きくなったのか**」と質疑したところ、「インボイス制度により、軽減税率の適用に応じた税率ごとの区分が必要となり、10%、8%、非課税といった取引を帳簿上でそれぞれ仕分ける必要があります。飲食店では、店内飲食は10%、出前は8%など用途ごとに区分する必要があります。実務上の負担が大きくなっています。特に1つの伝票に複数の税区分が混在する場合には、仕訳や記帳作業が煩雑になり、事業者にとって大きな事務負担となっています」との答弁がありました。

(3) 「**インボイス制度の導入により、取引の停止や消費税分の不払い、さらには廃業に至った事例が実際にどの程度発生しているのか**」と質疑したところ、「インボイス制度に関する相談は、令和5年度が約60件、令和6年度が約30件となっています。これは埼玉土建一般労働組合中部支部（北本市、鴻巣市、桶川市の3市）全体での件数です。支部全体の会員は約1,300人で、消費税分の賃金が減額されたという相談が約10件、廃業に至ったと確認しているのは1件です。なお、これらは担当者が直接把握している件数であり、他に把握していない事例がある可能性もあります」との答弁がありました。

本請願に対して、賛成討論が2件、反対討論が1件ありました。

以上、報告いたします。

令和7年6月27日

総務文教常任委員会

委員長 今 関 公 美

北本市議会議長 保 角 美 代 様